

# 施設内で見られる野鳥

# 野鳥



**アオジ**  
ホオジロ科  
*Emberiza spodocephala*  
雄の頭は緑灰色、雌の頭は色が淡く目の上に黄色の斑がある。藪などを好み、昆虫や草の実を食べる。ジッと鳴く。

## カッコウ

カッコウ科  
*Cuculus canorus*

札幌市の鳥。夏に渡来する。モズやオオヨシキリ等の巣に卵を産み、ヒナを育てさせる。カッコーと鳴く。



## ヤマガラ

シジュウカラ科  
*Parus varius*

丘陵地から山地に生息する。胸から腹にかけて赤茶色。木の実を樹皮の割れ目などに隠す習性がある。ツーツーピーと鳴く。

## ハクセキレイ

セキレイ科  
*Motacilla alba*

顔は白く、目を通る黒い線がある。冬には集団でねぐらを作る。長い尾を上下に振りながら歩き、昆虫等を食べる。チチンチチンと鳴く。



## アカゲラ

キツツキ科  
*Dendrocopos major*

平地～山地の森林に生息する。背は黒く、雄の後頭部は赤い。くちばしで幹をつついで中にいる虫を食べる。キョッキョッと鳴く。

## ゴジュウカラ

ゴジュウカラ科  
*Sitta europaea*

体の上面は青灰色で、顔に黒い線がある。木の幹に縦にとまつたり、逆さまになって、昆虫等を食べる。フィーフィーフィーと鳴く。



## シジュウカラ

シジュウカラ科  
*Parus major*

市街地から山地に生息する。頭は黒く胸に黒いネクタイ状の帯がある。巣箱をよく利用し、昆虫等を食べる。ツツピーと鳴く。



## ハシブトガラ

シジュウカラ科  
*Parus palustris*

帽子をかぶったような、頭の黒い模様が特徴。枯れ枝の虫などを探索して食べる。ツツツまたはチョーチョーチョーなどと鳴く。



## キレンジャク

レンジャク科  
*Bombycilla garrulus*

冬に群れをなして渡来する。ヤドリギ、ナナカマドなどの木の実を好む。尾の先が黄色く、頭に冠羽がある。

## キクイタダキ

キクイタダキ科  
*Regulus regulus*

日本で最も小さな野鳥。頭上が黄色く、目の周りの白色。針葉樹林に生息し、クモなどを食べる。ツツツツツチ、チリリリリと鳴く。



## キジバト

ハト科  
*Streptopelia orientalis*

北海道では夏鳥。全身が灰褐色、翼に灰色と赤褐色のうろこ模様がある。地上で草の実などを食べる。デッボーポーと鳴く。



## ヒヨドリ

ヒヨドリ科  
*Hypsipetes amaurotis*

全身が灰色で、ほおに褐色の模様がある。昆虫や木の実を食べるほか、花の蜜も好む。ヒーヨヒーヨと鳴く。

## 野鳥カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アカゲラ												
ヤマガラ												
ハシブトガラ												
シジュウカラ												
ゴジュウカラ												
ハクセキレイ												
ムクドリ												
ヒヨドリ												
キクイタダキ												
アオジ												
キジバト												
カッコウ												
キレンジャク												
ヒレンジャク												

※鳥類の見られる時期はあくまでも目安で、年により多少の前後があります。

Aboc™